opusdei.org

黙想:悲しみの聖母 (9月15日)

黙想のテーマ:「マリアの内的殉教」「聖母の涙」「慈愛に満ちた心」

マリアの内的殉教

聖母の涙

慈愛に満ちた心

主のご生涯の最後の瞬間に目を向けるよう、教会は招きます。その時、 主は聖母にともにおられるように求 められました。単に人間的な視点から見れば、この光景は非常に悲惨に思われるかもしれません。死刑を記したられた人が、自分のです。とたりでであれたしての光景に光をもるのでいるにあったとではいるが影のを助けてくれます。ことを見るのを助けてくれます。したもなかたマリア、あなたはなかたマリア、あなたはなかたマリア、あなたはなかたマリア、あなたしの勝利を得られたー呵。

にもっと偉大なもの、すべての人々の救いの業を関連づけることができるのです。

今日のミサはこう締めくくられてい ます。「御子とともに苦しむ聖母に ならい、キリストの苦しみの欠けた ところを、そのからだであるわたし たちが進んで満たすことができます ように」[2]。聖母は、このイエスの 十字架と苦難との一致の神秘を非常 に特別な形で体験されました。聖母 は小さな悩みの種であれ大きな試練 であれ、それが私たちを自分の中に 閉じ込めてしまうようなものであっ てはならないことを示しておられま す。苦難は復活へと導くものであ り、イエスと他者との距離を縮める 道となるのです。

聖ホセマリアは、カルワリオに向か うイエスと母の出会いをこう想像し ました。「計り知れないほど深い愛の眼差しで聖母マリアはイエスを、そしてイエスは御母をごらんに右手の心をもい、互いに相手の心をもいる」は、母親はじるようにある。それらば、子どもの苦しみを和らばまった。といるのでようにようと、そのではいるのです。

何世紀にもわたり、芸術は聖母が大字架のもとで流した涙を表現し、とで流した涙を表れたちの記憶に留めて変われた。とないでででででないでするとって変ないが、る中母とで変は、常に私たちを放しているというでは、常に私たちをがです。ない人々を苦しめている悪に対する、

キリストの悲しみのしるしなので す | [4]。

今日の祝日は、私たちの心をも慈しみで満たすよう招いています。マリアの悲しみが分かって、関心を示さないことは難しい。「泣かない者があろうか/あまりに深い悲しみに打

ちひしがれ/キリストの親愛なる母 を目の当たりにして」₅。続唱

Stabat Materのこの言葉は、私たちを回心へと駆り立てます。不当に断罪された人の母の苦しみを目の当たりにして、私たちの心は揺さぶられます。今日の社会におけるあらゆる悪の結果を見て、私たちキリスト者はそれを無視するのではなくて、聖母と同じ憐れみの心を持つよう求められているのです。

オプス・デイの創立者について、特に晩年、「テレビでニュースを見ている間、非常に熱心に祈っていまました。彼は話題になっている出来事を神に委ね、世界の平和を願っしています。私たちもまた、街頭であれます。私たちもまた、街頭であれる苦しみに対する同じ感受性を聖母にお願いしたいと思います。

Stabat Materはこう続けます。「私 のために嘆き悲しんでくださった方 を/私が生きている間ずっと悼んで います/ 十字架のそばであなたとと もにとどまり、あなたとともに泣き 祈ることが/私があなたに求めるす べてですして、思いやりのある態度 は弱い態度ではありません。聖母は 十字架のもとで、私たちに憐れみの 強さを示しています。それは苦しん でいる人を引き上げ、周りの人々に 平和を蒔くことができるのです。 |聖マリアの強さに感嘆しなさい。 十字架の傍らで、悲痛の極みといえ

「聖マリアの強さに感嘆しなさい。 十字架の傍らで、悲痛の極みといえ る悲しみを、剛毅の心で忍んでおら れる。同じ強さを聖母にお願いしな さい。あなたも十字架の傍らに立っ ていることができるためである」

[8]0

- [1] ローマ・ミサ典礼書、9月15日、 悲しみの聖母、アレルヤ唱。
- [2] 同、拝領祈願。
- [3] 聖ホセマリア『十字架の道行』 第四留。
- [4] フランシスコ、一般謁見演説、 2022年4月23日。
- [5] 続唱 Stabat Mater。
- [6] 福者アルバロ・デル・ポル ティーリョ『オプス・デイ創立者に ついてのインタビュー』 (Entrevista sobre el Fndador del Opus Dei, n. 30)。
- [7] 続唱 Stabat Mater。
- [8] 聖ホセマリア『道』508番。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/meditation/mokusou-kanashimi-no-seibo/(2025/12/13)